

令和3年9月22日

豊島区

東京都住宅供給公社（J K K 東京）が発行する ソーシャルボンドの購入について

令和2年7月、豊島区は東京都で初めて「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」にダブル選定され、SDGsの目指す「誰一人取り残さない」社会の実現に取り組んでいます。

基金の運用においてもSDGsの推進に貢献するため、令和3年9月22日、「東京都住宅供給公社（J K K 東京）」が発行するソーシャルボンドを購入しました。

○ 選定理由

- ・ J K K 東京は、東京都の住宅政策の実施機関として、都内の広範囲に多様な住宅を提供するとともに、住宅の建替えにより創出した用地に保育所や特別養護老人ホーム等の整備・誘致を行っている。また、東京都から都内全域の都営住宅等、約27万戸の管理を受託している。
- ・ J K K 東京が実施する事業は、これまで本区が進めてきた「誰もが主役になれる『国際アート・カルチャー都市』」の実現や、SDGsの理念と同じ方向を目指すものである。

今後も本区は、SDGs未来都市として、SDGsの理念や目標を踏まえて積極的な取り組みを推進し、国際アート・カルチャー都市の実現に努めてまいります。

※ SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業とは

「SDGs未来都市」とは、SDGsの理念に沿った取り組みを推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通し、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域を内閣府が選定するもの。また、その中で特に先導的な取り組みが「自治体SDGsモデル事業」として選定される。（参考リンク：[「SDGs未来都市」豊島区](#)）

※ ソーシャルボンドとは

資金使途が社会的課題の解決に資するものに限定される債券。J K K 東京が発行するソーシャルボンドは、子育て世帯や高齢者などの居住を支える事業に活用されることから、国際的なソーシャルボンド原則に適合しているとの第三者評価を得ている。